

みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

# 2024 春季生活闘争ニュース

2024. 4. 4 — 第 19 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

## 2024 年春季生活闘争 第 3 回回答集計結果について

連合本部は、2024 年春季生活闘争につき、4 月 2 日（火）10 時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した4,842組合中2,362組合が妥結済みで、うち1,572組合（66.6%）が賃金改善分を獲得している。
- 平均賃金方式で回答を引き出した2,620組合の加重平均は16,037円・5.24%（昨年同時期比4,923円増・1.54ポイント増）となった。第2回回答集計（16,379円・5.25%）とほぼ同水準を維持している。うち、組合員300人未満の中小組合1,600組合の加重平均は12,097円・4.69%（同3,543円増・1.27ポイント増）となった。全体も中小組合も、比較可能な2013闘争以降で最も高い水準となっている。なお、中小組合の賃上げ率は、前回第2回回答集計結果（4.50%）を上回っている。
- 平均賃金方式のうち、賃上げ分が明確に分かる2,159組合の賃上げ分加重平均は11,078円・3.63%（同4,948円増・1.47ポイント増）、うち中小組合1,214組合の賃上げ分は8,509円・3.21%（同3,171円増・1.14ポイント増）となった。全体も中小組合も、額・率とも賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降で最も高い。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げは、加重平均で、賃上げ額は時給66.67円（同7.97円増）・月給13,870円（同4,973円増）、引上げ率は概算でそれぞれ6.10%・6.18%となり、一般組合員（平均賃金方式）を上回った。
- 長時間労働是正やすべての労働者の雇用安定、ジェンダー平等・多様性の推進実現に向けて数多くの取り組みがなされているが、とりわけ、育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備、60歳以降の高齢期における雇用と処遇に関する取り組みなどは昨年同時期を超える回答・妥結件数となっている。

### 連合北海道は、4 月 4 日（木）16 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 集計可能な回答を引き出した組合は 101 組合（昨年同時期比 28 組合増）、人数は 38,874 人（同 8,662 人増）であった。
- 月例賃金の加重平均は、12,748 円・4.72%（同 3,833 円増・1.39 ポイント増）となった。
- ベースアップ分が明確にわかる組合は 85 組合あり、全体では 8,677 円（同 3,903 円増）であったが、うち 300 人未満の中小 72 組合では 9,133 円（同 3,828 円増）となり、300 人以上の組合の 8,585 円（同 3,882 円増）や全体集計を上回った。
- 300 人以上と 300 人未満の加重平均の差は 1,583 円・0.03%であり、第 2 回集計（春闘ニュース第 12 号）の 4,897 円・1.19%と比べて規模間格差が縮まったといえる。

### 組合規模別賃上げ状況 2024 年 4 月 4 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300 人未満	72 組合	7,462 人	11,431 円 (4.70%)	6,943 円 (3.26%)	4,488 円 (1.44%)
300 人以上	29 組合	31,412 人	13,014 円 (4.73%)	9,237 円 (3.34%)	3,777 円 (1.39%)
計	101 組合	38,874 人	12,748 円 (4.72%)	8,915 円 (3.33%)	3,833 円 (1.39%)